



JASDAQ

平成 28 年 11 月 14 日

各 位

シライ電子工業株式会社
代表取締役社長 小島 甚昭
(コード番号: 6658)
問い合わせ先: 取締役 経営管理担当
亀井 正巳
電話番号: 075-861-8100

営業外損失の計上及び平成 29 年 3 月期第 2 四半期業績予想との差異の発生に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）におきまして、下記のとおり営業外損失の計上を行うことになりました。

また、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の連結業績予想に差異が発生することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外損失の計上

当社は、昨今の急激な為替相場の変動に伴い、主に当社グループが保有する外貨建て資産・負債の評価により、連結決算上 153 百万円の為替差損を計上することになりましたのでお知らせいたします。

なお、これは平成 29 年 3 月期第 2 四半期末時点での為替相場による評価換算であり、通期の為替差損益の額は、平成 29 年 3 月期末の為替相場により変動いたします。

2. 業績予想との差異

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想数値との差異
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	14,000	200	100	20	1.43
今回実績(B)	12,460	181	△29	△50	△3.61
増減額(B-A)	△1,540	△19	△129	△70	—
増減率(%)	△11.0	△9.5	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	15,059	421	425	308	22.07

2. 差異発生の理由

売上高につきましては、概ね期初の計画通りに推移したものの、海外の売上比率が年々高まるなか、為替レートが予想以上に円高で推移したこと等により 124 億 60 百万円となり、平成 28 年 5 月 13 日に公表（以下「前回公表」という）いたしました業績予想に比べ 15 億 40 百万円の減収となりました。

営業損益につきましては、売上高は減収となったものの、グループを挙げて製造原価の低減や販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果 1 億 81 百万円の営業利益となり、前回公表いたしました業績予想に比べ 19 百万円の減益に止まりました。

経常損益につきましては、為替相場の変動に伴い、当社グループが保有する外貨建て資産・負債の評価等により為替差損を計上することになったことから 29 百万円の経常損失となり、前回公表いたしました業績予想に比べ 1 億 29 百万円の減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、税金費用の発生は予想を下回りましたものの、経常利益が減益となったことから 50 百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失となり、前回公表いたしました業績予想に比べ 70 百万円の減益となりました。

3. 今後の見通し

今後の業績の見通しにつきましては、上半期は概ね計画どおり推移し、今後の景気や為替の影響が懸念されるものの、現時点では業績予想の見直しはせず据え置いております。今後、業績予想の修正が必要なことが判明いたしました場合には、速やかに公表させていただきます。

以 上